

計画作成年度	平成24年度
計画主体	紋別市

紋別市緊急捕獲等計画

<連絡先>

担当部署名	紋別市農政林務課
所在地	北海道紋別市幸町2丁目1-18
電話番号	0158-24-2111
FAX番号	0158-23-1535
メールアドレス	nougyoushinkou@city.mombetsu.lg.jp

- (注) 1 共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記入する。
- 2 計画の作成に当たっては、別添留意事項を参照の上、記入等すること。

1. 対象鳥獣の種類、実施計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	エゾシカ、カラス
計画期間	平成24年度～平成27年度
対象地域	紋別市内

- (注) 1 計画期間は、原則として平成24年度から平成27年度の4年間とする。
 2 対象地域は、単独で又は共同で本計画を作成する全ての市町村名を記入する。

2. 被害の現状及びこれまで講じてきた被害防止対策

(1) 被害の現状（平成23年度）

鳥獣の種類	被害の現状	
	品目	被害数値
エゾシカ	畑作物、飼料作物、飼料	1,458.7 ha・74,131 千円
カラス	畑作物、畜産等、配合飼料 環境被害	7.1 ha・140 千円

- (注) 主な鳥獣による被害品目、被害金額、被害面積（水産業に係る被害面積を除く。）等を記入する。

(2) 被害の傾向

<p>エゾシカ： 生息状況：市内の全域に生息 被害発生時期：農地は積雪期を除く4月下旬から収穫期11月上旬まで発生している。 被害の場所：市内農地全域で被害が発生している。 被害地域の増減傾向：被害の減少はみられない。</p> <p>カラス： 生息状況：市内の全域に生息 被害発生時期：被害発生は通年 被害の発生場所：農地、住宅地、牛舎内、放牧地 被害地域の増減傾向：ラップの被害、牛への畜産被害は特に増加傾向 個体数の増加から、過去に例のない被害増加</p>

- (注) 1 近年の被害の傾向（生息状況、被害の発生時期、被害の発生場所、被害地域の増減傾向等）等について記入する。
 2 被害状況がわかるようなデータ及び地図等があれば添付する。

(3) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲に関する取組	箱わなによる捕獲 猟友会の有害駆除従事者による駆除	捕獲する頭数も年々増えているが、それ以上に繁殖しているため被害は増える一方である。 また、警戒心が強く箱わなによる捕獲数は減少している。 駆除員も常時活動するのは難しく、出没通報を受けて出動してもすでにいなくなっているケースがある。
防護柵の設置に関する取組	比較的小さな圃場では、個人設置での電気牧柵などがある。	防護柵については、圃場面積が広大なため、実施が現実的ではない。 設置しても、一時的な防除にしかならないと考えられる。 根本的にエゾシカ生息数を減少させることは出来ない。

- (注) 1 計画対象地域における、直近3ヶ年程度に講じた被害防止対策（捕獲及び防護柵設置に関する取組）と課題について記入する。
2 「捕獲に関する取組」については、捕獲体制の整備、捕獲機材の導入、捕獲鳥獣の処理方法等について記入する。
3 「防護柵の設置に関する取組」については、侵入防止柵の設置・管理等について記入する。

3. 取組内容

(1) 緊急捕獲活動に関する事項

①対象鳥獣の捕獲体制

<p>[紋別市鳥獣被害対策実施隊の設置]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会にて設置した罟の見回りなどを含む鳥獣捕獲を行う紋別市鳥獣被害対策実施隊を設置する。 ・実施隊員（対象鳥獣捕獲員）として市職員から1名を指名する。 ・北海道猟友会紋別支部に鳥獣一斉捕獲業務の協力を要請する。(対策実施隊の指揮で実施する) <p>[対象鳥獣の捕獲等に係る体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道猟友会紋別支部会員で、許可捕獲従事者である者に、協力参加を要請する。
--

- (注) 捕獲計画及び捕獲目標の達成に向けて十分な体制となっているか精査した上で、鳥獣被害対策実施隊のうち対象鳥獣捕獲員、狩猟者団体等による対象鳥獣の捕獲体制を記入するとともに、緊急捕獲活動に関わる者のそれぞれの取組内容や役割について記入する。

②活動方法

緊急捕獲活動	
実施予定時期	4月下旬～5月上旬、2月上旬～3月上旬（くくり罟は通年実施）
捕獲予定場所	市内全域
捕獲手段	銃猟、くくり罟

- (注) 1 捕獲計画及び捕獲目標の達成に向けて十分な体制となっているか精査した上で、緊急捕獲活動の実施予定時期、捕獲予定場所、わな等の捕獲手段、捕獲鳥獣の処理方法について記入する。
- 2 捕獲等の実施予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

③捕獲計画（捕獲目標）

捕獲計画数（捕獲目標）設定の考え方
人と鳥獣の共存を目指した科学的・計画的な保護管理として、個体群の長期にわたる安定的維持を図る。

対象鳥獣	有害捕獲実績 (年度～年度の平均)	捕獲計画数			
		24・25年度	26年度	27年度	合計（捕獲目標）
エゾシカ	333 (H22~24)	1,500	1,700	395	3,595
カラス	326 (H22~24)	500	1,300	500	2,300

- (注) 1 有害捕獲実績には、直近3カ年の有害捕獲頭数の平均値を記入する。
- 2 捕獲計画数及び捕獲目標は、有害捕獲実績を上回り、かつ、被害防止計画における捕獲計画数を超えない範囲で設定する（狩猟による捕獲は含めない）。

(2) 侵入防止柵の機能向上整備計画

対象鳥獣	整備内容			
	24・25年度	26年度	27年度	合計
ヒグマ エゾシカ	[鳥獣被害防止総合対策事業] ・電気柵(H24) L=194,920m H=1.5 m (3段、4段) 受益地：200.9ha 受益戸数：15戸 事業費：15,277.5千円 補助金：15,277.5千円	[鳥獣被害防止総合対策事業] ・電気柵 L=200,000m H=1.5 m (4段) 受益地：260ha 受益戸数：20戸 事業費：32,000千円 補助金：32,000千円	[鳥獣被害防止総合対策事業] ・電気柵 L=200,000m H=1.5 m (4段) 受益地：260ha 受益戸数：20戸 事業費：32,000千円 補助金：32,000千円	[鳥獣被害防止総合対策事業] ・電気柵 L=828,920m H=1.5 m (3段、4段) 受益地：989.4ha 受益戸数：74戸 事業費：92,749千円 補助金：92,749千円
	・電気柵(H25) L=234,000m H=1.5 m (3段、4段) 受益地：268.5ha 受益戸数：19戸 事業費：13,471.5千円 補助金：13,471.5千円			

- (注) 1 設置する柵の種類、設置規模、既存の柵との関係等について記入する。
 2 侵入防止柵の設置予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

4. その他対策の実施に関し必要な事項

(注) その他対策の実施に関し必要な事項について記入する。

5. その他の留意事項

- (1) 各事業年度ごとに、捕獲計画の達成状況、被害の発生状況等から、対策の効果が得られているか検証を行うとともに、十分な効果が得られて以内場合には本計画を見直し、捕獲体制や活動方法の改善等を行うものとする。
- (2) 本計画と紋別市鳥獣被害防止計画、北海道鳥獣保護事業計画及び特定鳥獣保護管理計画の整合性を確保するため、事業の進捗状況に合わせ、必要に応じて本計画及び紋別市鳥獣被害防止計画の見直しを実施するものとする。